

平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

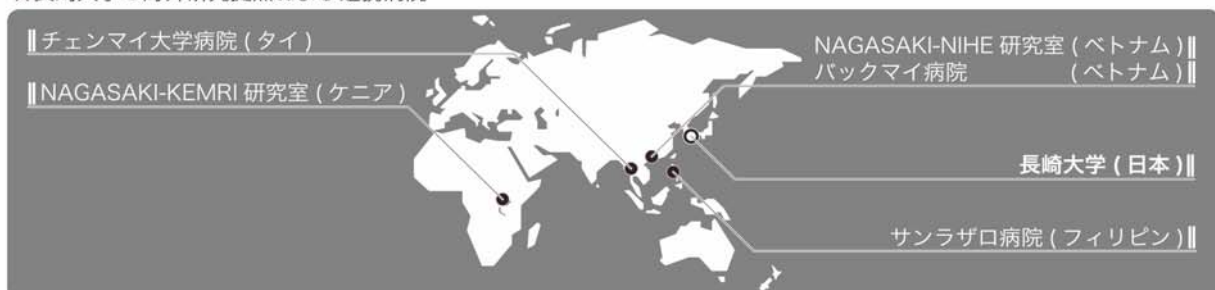
機 関 名	長崎大学	整理番号	c014
1. 申請分野(系)	医療系		
2. 教育プログラムの名称	国際的感染症研究者・専門医養成プログラム		
3. 関連研究分野(分科)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 医歯薬学		
(細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (寄生虫学、ウィルス学、細菌学、感染症学、国際保健学)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 医歯薬学総合研究科・新興感染症病態制御学系専攻[博士課程(一貫制)] (その他関連する研究科・専攻名)	研究科長(取組代表者)の氏名 谷山 紘太郎	
5. 本事業の全体像			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
長崎大学の感染症研究教育は、21世紀COE「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点」に採択されるなど、大学最大の個性・特長であり、本学将来構想実現のためのドライビングフォースと位置づけている。新興感染症病態制御学系専攻は熱帯医学研究所とともにCOEの中核を構成し、とりわけ人材育成面(感染症研究者養成)における最大の基盤組織である。本専攻は基幹教員組織に加えて、熱帯医学研究所及び国立病院機構長崎医療センター臨床研究センターが参画するなど学際性に富み、全国にも類例のない感染症に特化した基礎・臨床融合型組織である。21世紀の全人類の生存と安全・安心を脅かしている感染症への対策に国境はなく、国際的に通用する人材の育成が本専攻の急務である。今回の取組は、カリキュラムへのコースワークの導入を中心とした教育の実質化、国際的に活躍できる人材育成のための海外研究・研修システムの新規導入を主眼とする意欲的なものであり、中教審大学院部会中間報告の主旨とも合致する。大学としても本年4月に設置した国際連携研究戦略本部を中心に、とくに教育の国際的展開のための環境整備面で重点的支援を行う。			

機 関 名	長崎大学	整理番号	c014
5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について) 本学の最も特色ある大学院専攻として平成12年度医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻(独立専攻)を設置したが、平成14年度の研究科の医歯薬学総合研究科への統合改組に伴い本専攻も薬学系教員を基幹講座に加えるなどの改組を行った。基幹講座が基礎・臨床系教員混成の大講座制を採ることに加え、熱帯医学研究所が協力講座として、長崎医療センター臨床研究センターが連携講座として参画し、感染症研究者・専門医育成に特化した基礎・臨床融合型のきわめて学際性に富む教育を行っている。学生の需要も大きく、定員充足率は常に100%を凌駕している。			
5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について) 地球規模で活躍できる感染症研究者、専門医師育成のための教育の更なる実質化と、海外研究・研修制度の教育課程への正式導入を主眼とした独創的教育プログラムへの発展的展開のために以下の取組を行う。 A. 教育目標に沿ったコースワークの設定: 感染症研究者養成コースと感染症専門医師養成コースを峻別し、それぞれの教育目標を明示するとともに、それに対応した必修カリキュラム(コースワーク)を新たに設定する。とくに専門医師養成コースは感染症専門医資格取得へ連動するカリキュラムとし、学生には資格取得へのプロセスを明示する。 B. 海外研究・研修システムの導入: (1) 長期海外研究制度: 研究者養成コースの学生の希望者を1-2年の長期にわたって本学の海外研究拠点(ベトナム、ケニア)に派遣し、指導教員の下に研究に従事させ、その内容を博士論文としてまとめさせる。 (2) 短期海外臨床研修制度: 専門医師養成コース学生の希望者を対象に、従来の「熱帯病専門医師養成プログラム」をさらに充実発展させ、海外連携病院(タイ、フィリピン、ベトナム)での1か月の臨床研修の機会を与える。選択科目として単位認定を行う。 C. e-Learningによる遠隔教育・自主学習環境の構築: 本専攻の授業内容を電子媒体化し、海外でも受信でき質疑応答も可能なシステムを構築する。学生の自主学習に役立つとともに、社会人入学者や長期にわたり海外での研究に従事する学生の受講及び単位取得を可能とするものである。			

6. 履修プロセスの概念図



★長崎大学の海外研究拠点および連携病院



感染症研究拠点
形成事業

国際連携研究
戦略本部

長崎大学 21 世紀
COE プログラム

機 関 名	長崎大学	整理番号	c014
< 審査結果の概要及び採択理由 > 「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。 本事業の趣旨に照らし、 ①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか ②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が非常に優れており、十分期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。 なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。 [特に優れた点、改善を要する点等] ・現在の長崎大学の感染症教育研究実績、人的資源、学内体制などを効果的に活かした教育プログラムであり、各大学が特色を求められる時代にあつて、本教育プログラムは、海外研究・研修システムの導入やe-learningによる遠隔教育・自主学習環境の整備などを通じ、国際的感染症研究者、専門医養成に特化したプログラムとして、今後の発展が期待できる。 ・なお、他の関係機関との連携など、実現に向けて更なる工夫が必要である。			